がんばる人の、 がんばらない時間。

世の中に、がんばっている人がどんなにたくさんいるか。 ドトールは、誰よりもそのことを知っています。 だからこそ、ドトールは思ちのです。そんな人たちに、 「がんばらない時間」をあげたい。すっと肩の力をぬく時間。 ほっと我に返る時間。ぼおと遠くを見つめる時間をあげたい。 なぜなら、それが、次のがんばる時間に必ず役立つことを 知っているからです。そのためには、とびきりおいしいコーヒーが いる。気軽にすわれる椅子も、ひとりが心地いい空間も、空腹を しずめるおいしい食べものもいる。思えば私たちが30年間 がんばってきた店づくりは、そんな「がんばらない時間」のため だったのですね。人々がいそがしく行き交う街に、一軒のドトールを 見つける。それだけで、緊張がやわらぎ、その街が ドトールコーヒーショップ やさしい街に見えてくる。これからも、そんな店 でありつづけたいと願う、私たちドトールです。

株式会社ドトール・日レスホールディングス

URL http://www.dnh.co.ip

本社 東京都渋谷区猿楽町10番11号 TEL 03-5459-9178 (代表)



株式会社ドトールコーヒー 日本レストランシステム株式会社

www.doutor.co.jp

www.n-rs.co.jp



DNREPORT 株式会社ドトール・日レスホールディングス 2011年2月期 報告書 たっかり、グループ全体の企業価値を更に高めてまいります CONTENT 経営戦略 Q&A ····· 2 連結決算ハイライト・・・・・・・5 事業別状況・・・・・・・・・ 6 連結財務諸表····· 7 トピックス・ア・ラ・カルト ・・・・・ 8 厳選食品 安心堂のご紹介 ・・・・・・10 レストラン事業のアジア展開がスタート・・11 グループ新事業: サンメリーによる 新業態「ベーカリー&レストラン」が好発進 13

株主の皆様へ

株主の皆様方におかれましては、平素より当社事業への 格別のご支援及びご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。 また、このたびの東日本大震災により、被災された株主をは じめとした多くの皆様及び被災地の方々に対しまして、心よ りお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を衷心より お祈り申し上げます。

当期における経済環境は、新興国向けの輸出の増加や政 府の景気刺激策の効果などもあり緩やかに回復しつつある ものの、欧州財政の信用不安や中東諸国の政情不安による 原油をはじめとした原材料価格の高騰など、企業業績の下 振れ懸念が生じ先行き不透明な状況となりました。外食業 界におきましても、個人所得の低迷を背景とした消費者の生 活防衛意識の高まりや低価格競争の激化から厳しい経営環 境となりました。

このような状況下、当社グループは、「外食業界における 日本一のエクセレント・リーディングカンパニー | の地位確立 を目指し、立地を厳選してグループ全体で65店舗(直営店 舗34店舗、加盟店舗31店舗)を新規に出店するとともに、

ブランド価値の向上策、業務の効率化、新業態の立ち上げ、 新メニュー開発、価格の柔軟な見直しなど既存事業の強化 を行いました。新たな取り組みといたしましては、100%子 会社「D&Nカフェレストラン」による新業態「ピッツェリア& バール オリーブ・ツリー |、「CAFE STAZIONE | の開発、 「サンメリー」においてもグループのノウハウを取り込んだ新 業態「ベーカリー&レストラン サンメリー」を開発しました。 また、今後のアジアでの海外展開の礎となるべくシンガポー ルに「洋麺屋 五右衛門 | 海外 | 号店を出店しました。

更に事業の一層の拡大のために喫茶部門で高級カフェ事 業「カフェラミル | 「ニナス | 「オーバカナル | の譲り受けを 行ったほか、健康志向の高まりと内製化のために国産最高級 の大豆を使った豆腐等製造の関連会社「株式会社絶品豆腐」 を設立し商品の供給を開始するなど、グループ全体の企業 価値の増大を図ることができました。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解 とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

グループ事業の概況

ドトールコーヒー

ドトールコーヒーショップ、エクセルシオール カフェ、カフェラミル など、飲料事業及びカフェ業態を中心に展開する事業会社

日本レストランシステム

洋麺屋 五右衛門、俵屋(TAWARA-YA)、さんる一むなど、 直営レストラン及び物販・通販業態を中心に展開する事業会社

ドトール・日レスホールディングス

グループ全体の最適化を図るための企画・運営・管理等を行い、グループ全体の経営を統括する。

D&Nコンフェクショナリー

グループ間及び外部取引先に対し、 高品質な商品を開発・販売する 洋菓子製造・卸販売を行う事業会社

D&Nカフェレストラン

グループのノウハウを結集し、カフェと レストランの複合業態などグループの象徴と なる業態を開発・運営する事業会社

サンメリー

石釜パン工房サンメリーなどベーカリー・ ショップ及びベーカリー&レストラン業態を 中心に展開する事業会社

代表取締役会長 山内 実 代表取締役社長 星野 正則

既存事業の安定成長と海外展開による 事業拡大により、グループ全体の 企業価値を更に高めてまいります

当期を振り返り、事業環境と営業の 取り組みについてお聞かせください

当期の業績については、カフェ部門・レストラン部門とも に、既存店の客数が夏場を境に回復傾向に向かうなど、キャ ンペーンの実施や柔軟な価格の見直し、カフェ部門のブラン ドメッヤージの発信などリ・ブランディングによるブランド価 値向上やレストラン部門のサラダバー・パンバー・アイスバー の設置による商品力のアップなどにより、改善の兆しが見受 けられてきました。また、カフェ部門における韓国でのコー ヒー飲料事業の拡大やレストラン部門における海外 1 号店と してシンガポールに「洋麺屋 五右衛門」を出店するなど、海 外での事業展開も徐々に拡大しております。

しかしながら、個人所得の低迷を背景とした消費者の生活 防衛意識の高まりや低価格競争の激化から上期の既存店の 不振を補うことができなかったことや、顧客単価の低下や粗 利の減少などから厳しい経営環境となり、売上高は前年を上 回ったものの、利益は前年を下回る結果となりました。

新たな取り組みの内容を 詳しくお聞かせください

当期の新たな取り組みとしては、「カフェラミル!「ニナス」 「オーバカナル」の3つの業態を譲り受け、当期5月から連 結化しました。これにより「ドトールコーヒーショップ」をはじ めとした気軽に立ち寄れるセルフサービス店舗から、ゆっく りと過ごせるフルサービス店舗までカフェ業態を完全網羅す



ることができました。「オーバカナル」では、当社グループが 展開するバール業態との融合化を図ることで、新たな業態 の開発を目指しております。

一昨年10月に連結化したベーカリー事業を行う「サンメリー」では「洋麺屋 五右衛門」との併設店舗を新規出店し、五右衛門にパンバーを設置、サンメリーの焼きたてパンを食べ放題にしました。またグループ内のセントラルキッチンで製造している惣菜をサンメリーのパンに使用して商品をグレードアップさせるなど、これまでの効率化や合理化によるシナジーの創出から、収益力を高めていくシナジー効果の追求に努めております。更に、サンメリーのベーカリーノウハウ、日本レストランシステムのレストランノウハウ、ドトールコーヒーのカフェノウハウを融合させた新たな業態として、ベーカリー&レストランを千葉県柏市にオープンし、多くのお客様にご来店いただくなどご好評を頂いております。



このように、グループ化した事業について仕入・物流・管理部門の一体化を行うことでコストシナジーを創出し、更にノウハウを共有化してグループ間の融合を進化させることにより収益シナジーを創出していき、今後更なる事業拡大に努めていく所存です。

韓国、シンガポールなどの海外事業 展開についてお聞かせください

カフェ部門においては、韓国のコーヒー飲料事業において商品アイテムを増やし、着実にシェアを拡大することで売上を増加させております。また、この3月より台湾においても台湾セブンイレブン(約4,800店舗)にて、チルドカップ飲料の先行販売を開始いたしました。今後もコーヒー飲料事業の海外展開を拡大し、一層の業容発展を図ってまいります。

レストラン部門においては、海外進出第1号店としてシンガポールに「洋麺屋 五右衛門」をオープンいたしました。シンガポールにおけるレストラン事業ではThe Asian Kitchen Food Company Pte Ltdとの業務提携の中で事業展開を行い、お客様の支持を得て順調に推移してきましたが、このたびシンガポールでの事業を拡大するため、同社株式の90%を取得し子会社化することで、営業基盤の拡充と事業展開の加速化を目指すこととしました。同社はシンガポール国内で飲食店10店舗を運営し、2010年度の売上高は約8億円です。今後は「洋麺屋 五右衛門」を中心に多店舗化を図ることで、シンガポールにおけるレストラン事業を拡大、確立してまいります。

なお、2012年2月期はシンガポールにて4店舗の新規 出店を行う予定です。

東日本大震災の影響について お聞かせください

このたびの東日本大震災により、被災された多くの皆様及び被災地の方々に対しまして、心よりお見舞い申し上げるとともに、一日も早い復興を衷心よりお祈り申し上げます。

このたびの震災における当社グループの直接的な被害については、関東工場の敷地の一部の液状化やコーヒーマシン及び一部機器の破損など細かい点はありますが、当社グループの営業活動に大きな影響を与える被害はございませんでした。4月末現在のグループ全体でクローズしている店舗は約10店舗となっております。この閉鎖中の店舗においても、インフラや施設事情により営業を見合わせているのが現状であり、外部環境が整い次第、営業を開始したいと考えております。

但し、間接的な部分では、現在徐々に回復してはいるものの、まだ取引先の被災状況から包装材や原材料の調達が遅れがちになっているものもあり、各店舗において一部提供のできない商品がございます。また、今後の営業という点では、計画停電により一時休業もしくは営業時間の変更をせざるを得ない店舗が出ることが予想されますが、この点については、現時点での想定が困難であり、今後その影響を見極めていかざるを得ないのが現状です。あくまで、現時点での想定ではありますが、震災による直接的な特別損失として5千万円~1億円程度あり、また、既存店については当面弱含みで

推移するものと予測しております。

なお、今回の震災に対しまして、当社グループ全店舗で義援金募金活動を行っております。当面はこの活動を継続し、当社グループとしても微力ながらできるかぎりの支援はしていきたいと考えておりますので、皆様方の温かいご支援を今後ともよろしくお願い申し上げます。

株主の皆様へメッセージを お願いします

外食業界を取り巻く環境は、業界の垣根を越えた業態間の競争が激化し、低価格競争が続く中、個人所得の低迷を背景とした消費者の生活防衛意識の高まりによる外食頻度の減少など、厳しい経営環境が続いております。このような環境下、当社グループではリ・ブランディングや新商品の開発を含めた商品力のアップ、新規出店、新業態開発のほか、グループのノウハウを共有化して事業会社間の融合を進化させることにより収益シナジーを創出していくことで高収益を目指してまいります。また、高成長が期待できるアジアを中心とした海外事業の本格的な展開を図り、事業拡大に向けた具体的な動きを加速化する段階となりました。今後は高収益と高成長を果たせる企業として、「外食業界における日本一のエクセレント・リーディングカンパニー」の地位確立を目指すとともに、グローバル展開による企業価値の増大を目指してまいります。

株主の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご理解 とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

BUSINESS REVIEW

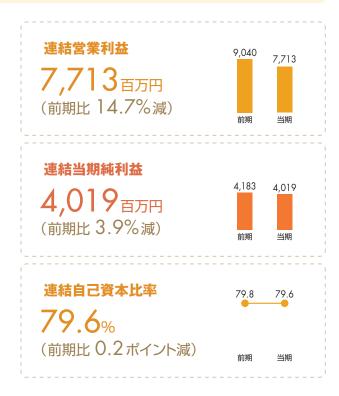
事業別状況

連結決算ハイライト

当期のポイント

- ■厳しい環境のもと、売上は前年を上回るも、増収減益で着地
- ■グループ間コラボレーションの加速化による新業態が奏功
- ▶カフェ・レストランともに、アジアを中心としたグローバル展開を加速
- 一株当たり13円の安定した期末配当を継続(年間配当26円)

連結売上高 105,011 百万円 (前期比 4.2%増) 連結経常利益 8,099 百万円 (前期比 14.2%減) 連結一株当たり純資産額 1,590.47 1,656.16 1,656.16円 (前期比 65.69円増)



小売事業(レストラン/喫茶)

■レストラン部門

レストラン部門では、デフレに対応して価格を柔軟に見直す 他、「洋麺屋 五右衛門」、「洋食浅草軒」、「オリーブの木」の新規 メニューの開発、サラダバー・パンバー・アイスバーの設置な ど商品力のアップに努めました。新展開としましては、新業態の 「ピッツェリア&バール オリーブ・ツリー」を埼玉県朝霞市に、 「CAFE STAZIONE | を京都市左京区にオープンしました。ま た、豆腐の自社製造を始めた強みを活かし、豆腐料理の「絶品 純豆腐 |、鳥・豆腐・湯葉料理の「との字 | の新業態を開発しま した。更に今後の成長が期待できるアジアにも目を向け、シン ガポールのショッピングセンターである「MBLM」に「洋麺屋 五右衛門 | を出店しました。また、名古屋にハンバーグの「フラ ンクス | とパスタとピザの 「オリーブの木 | の併設店を、また神 奈川県藤沢市と埼玉県新座市に「洋麺屋 五右衛門」に併設す る形でベーカリーの「サンメリー」をオープンしました。同事業 においては、千葉県柏市に店内で焼きたてのパンと食事を楽し める新業態「ベーカリー &レストラン サンメリー |を開発したほ か、サンメリー以外のレストランへの商品供給を開始し、また、 グループ会社で製造した惣菜を使用してサンメリー商品のグ レードアップを図るなどグループシナジーの追求に努めました。

■喫茶部門

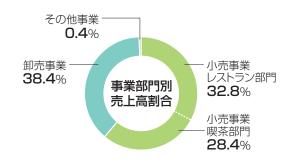
喫茶部門では、「ドトールコーヒーショップ」において、14時からのケーキセットの導入によるお得感のアップや、冬限定「贅沢ミラノサンドローストビーフ~特製バルサミコソース~」など美味しさを追求した新商品を季節ごとに限定メニューとして提供し商品力のアップに努め、サイズアップクーポンの配信など季節ごとのキャンペーンを開催したほか、「エクセルシオールカフェ」にてベーグルやPochette(ポシェット/カルツォーネ)などの新メニューを開発するなど、既存事業の強化に取り組ん

でまいりました。また、グループ化した高級カフェ事業「カフェラミル」の新規出店を行うなど、事業の一層の拡大に努めました。

更に、今年30周年を迎えたドトールコーヒーショップでは、ブランド価値の更なる向上を目指し、ブランドメッセージの発信や各種パッケージデザインをリニューアルしました。心地よく「次」にがんばる時間を過ごしていただくため、白を基調にロゴを配したシンプルなデザインに統一した陶器のカップやテイクアウトカップ、コーヒー豆のパッケージの刷新、また新しいドトールをイメージした街のアイコンショップとなる店舗の改装など、瞬時にブランドを判別できるように、店舗看板、サイン、販促物、消耗品などに使用するロゴを「DOUTOR」のシンプルなデザインに統一しております。

卸売事業

一般卸売事業においては、ドトール カフェ・オ・レなど定番 商品の拡販のほか、季節に合わせたチルド飲料の開発・販売に 注力したほか、スーパーなどの量販店向け商品の販売拡大やドリップやコーヒー原料の販路拡大に努めました。また、昨年スタートした韓国国内におけるコーヒー飲料事業においても、アイテム数を増加させることで、順調に拡大しており、積極的な販売活動を行ってまいりましたが、売上高は昨年を下回る結果となりました。



CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結財務諸表

連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

		(単位・日月日)
科目	当期 2011年2月28日現在	前期 2010年2月28日現在
資産の部		
流動資産	28,967	27,539
固定資産	73,269	72,968
有形固定資産	36,028	36,556
無形固定資産	1,726	1,446
投資その他の資産	35,514	34,965
資産合計	102,236	100,507
負債の部		
流動負債	15,702	15,509
固定負債	5,163	4,780
負債合計	20,865	20,289
純資産の部		
株主資本	82,248	81,015
資本金	1,000	1,000
資本剰余金	25,858	25,858
利益剰余金	57,233	54,525
自己株式	△ 1,844	△ 368
評価·換算差額等	△ 933	△ 811
その他有価証券評価差額金	△ 669	△ 787
繰延ヘッジ損益	△ 262	△ 24
為替換算調整勘定	△ 0	_
少数株主持分	55	14
純資産合計	81,370	80,218
負債及び純資産合計	102,236	100,507

連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 2010年 3月 1日から 2011年 2月28日まで	前期 2009年 3月 1日から 2010年 2月28日まで
売上高	105,011	100,788
売上原価	41,823	40,263
売上総利益	63,188	60,525
販売費及び一般管理費	55,474	51,484
営業利益	7,713	9,040
営業外収益	541	532
営業外費用	155	131
経常利益	8,099	9,441
特別利益	179	207
特別損失	807	2,091
税金等調整前当期純利益	7,472	7,556
法人税、住民税及び事業税	3,649	3,011
法人税等調整額	△ 202	355
少数株主利益	4	6
当期純利益	4,019	4,183

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)

科目	当期 2010年 3月 1日から 2011年 2月28日まで	前期 2009年 3月 1日から 2010年 2月28日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,859	8,315
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,389	△ 6,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,121	△ 145
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 25	△ 12
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,322	2,135
現金及び現金同等物の期首残高	17,689	15,554
現金及び現金同等物の期末残高	19,011	17,689

トピックス・ア・ラ・カルト

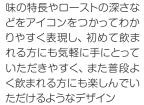
ドトール コーヒーショップ 30周年

新デザインによるリ・ブランディングを実施

30周年を迎えたドトールコーヒーショップ。

リ・ブランディングの一環としてブランドメッセージの発信や各種パッケージデザインをリニューアル。瞬時にブランドを判別できるように、店舗看板、サイン、販促物、消耗品などに使用するロゴを「DOUTOR」のシンプルなデザインに統一しております。







ponalet



新しいドトールをイメージした街のアイコンショップ。ドトールコーヒーショップ外苑前店 (東京都港区)。完全禁煙店舗

心地よく「次」にがんばる時間を過ごしていただくため、白を基調にロゴを配した、シンプルなデザインに統一

「F&F」 「さんるーむ」 とも連携

トピックス・ア・ラ・カルト

国内最高級大豆を使用した「絶品豆腐」設立

健康志向の高まりと内製化のために国産最高級の大豆を使った豆腐等製造の関連会社「株式会社絶品豆腐」を設立し商品の供給を開始しました。

佐賀県産「ふくゆたか」を厳選し100%使用。原料にこだわり、 大豆の甘みを最大限引き出し、伝統の技を駆使した職人の一品 です。濃厚な味わい、100年引き継がれる伝統の技を駆使した逸 品の「絶品豆腐」を是非お試しください。



D&N.カフェ レストランの 新業態





「カフェ&バール CAFE STAZIONE」。 京都・四条駅にオープン

「STAZIONE」はイタリア語で「駅」の意味。

京都市はイタリア・フィレンツェと姉妹都市の関係にあることから、店内デザインは京都とイタリアという相対する2つのテイストをミックスした、新しいカフェ&バールシーンを演出しています。「CAFE STAZIONE」は「Kotochika 四条」唯一の飲食店として、お仕事や買い物などで日常的に駅を利用される方々のあらゆるシーンを想定し、モーニング・ランチ・ティータイムはセルフサービスで、バータイムにはフルサービスの形態をとることで、時間帯によって異なるニーズにきめ細かく対応しております。

美味しくて安心な"食"を厳選するサイト

日本全国から逸品・特産品をお届けします。



http://www.anshindo-d.jp/

厳選食品 安心堂 お陰様で3周年。

度食品 安心堂は、全国各地の生産者と直接契約している新鮮な野菜・お米・水産物・お肉をはじめ、無添加の調味料、スイーツ・お菓子、天然酵母の手作りパンなど、美味しくて安心安全な食材を厳選し、皆様にお届けする通販サイトです。

農産物(野菜・果物・お米)は、仕入れ担当者が、直接農家のもとまで出向き、作物、農場等を視察し、農家と一対一で話し合い、お互いの姿勢を理解したうえで、出荷をしてもらっています。また、グループ内の工場で、天然酵母のパン、厳選素材のケーキ・焼き菓子、簡単に調理できるレトルトソース・冷凍食品などを製造しており、オリジナル商品でいっぱいです。更に、オーガニックスパゲッティーやダージリンティーなどは、海外(イタリア・インド)まで直接出向き、品質を見極めたうえで、商社を一切通さずに最高級の食材を仕入れております。

旬の厳選素材、グループ店舗の 食材を取り扱っております。

常ないの店F&Fが直接契約する農家さんから産直で仕入れた野菜をセットにしました。すべての野菜が化学農薬を極力使用しない減農薬または無農薬で栽培されております。

「洋麺屋 五右衛門」のパスタセットやインド・ダージリンの紅茶、手作りハム・ソーセージなど、グループ店舗で取り扱っている人気商品もお取り寄せいただけます。

是非一度、お試しください!





お問い合せ先:神奈川県横浜市港北区新吉田町533 ☎045-590-5345

9

SPECIAL FEATURE

レストラン事業における海外戦略

成長するアジア市場をターゲットに、日本発 の外食文化を発信!!



コンセプトは、日本の「洋麺屋 五右衛門」そのままをお届け

お箸で食べるスパゲッティーの草分け「洋麺屋 五右 衛門」。

麺の料理を日本人が美味しいと感じるために、フォー クではなく、お箸で食べるスタイルに。スパゲッティー は、ゆであげのアルデンテを味わっていただくため、 たっぷりのお湯で泳ぐように茹であげられる、大きな五 右衛門釜を採用。そして、スパゲッティーを盛り付ける お皿は、五右衛門オリジナルで作っている有田焼、提供 はお盆で。

本場イタリアの食材を使っていても、イタリア料理で はない、日本生まれの日本のスパゲッティー、それが「洋 麺屋 五右衛門 | です。この日本発の外食文化をシンガ ポールにお届けしております。



店舗概要

店 名	洋麺屋 五右衛門 シンガポールMBLM店
所 在 地	#B2-03 Marina Bay Financial Center, 8A Marina Boulevard, Singapore 018984
店舗総面積	48.7 坪
客 席 数	102席(全席禁煙)
営業時間	レストラン11:00~21:00
開店日	2010年11月3日
AA4 AU4 TO 4015	

現地従業員を日本国内で徹底研修

日本生まれの日本のスパゲッティーを提供するため、 現地従業員を日本に迎え徹底的な研修を行いました。 五右衛門の品質、味を追求するための調理方法、お 客様をお待たせしないオペレーション、心から喜んで いただけるサービスの提供、そして原材料の仕入れに 至るまで、研修の中で単なる技術だけでなく、日本の 文化などの考え方も共有することで、日本と変わらな い運営を行っております。

シンガポールでのレストラン事業拡大

シンガポールにおけるレストラン事業ではThe Asian Kitchen Food Company Pte Ltdとの業務 提携の中で事業展開を行い、お客様の支持を得て順 調に推移してきましたが、このたびシンガポールでの 事業を拡大するため、同社株式の90%を取得し子会 社化することで、営業基盤の拡充と事業展開の加速化 を目指すこととしました。同社はシンガポール国内で 飲食店10店舗を運営し、2010年度の売上高は約8 億円です。今後は「洋麺屋 五右衛門」を中心にその 他の業態の進出も図り、多店舗化をすることで、シン ガポールにおけるレストラン事業を拡大、確立してまい ります。なお、年度内にシンガポールにて4店舗の新 規出店を行う予定です。

中国、上海にもレストラン事業進出へ

シンガポールでのレストラン事業の順調な拡大にあ わせ、このたび5月に「洋麺屋 五右衛門」の中国1号 店を、更に「洋食 寅八軒」も同時オープンし、中国 の上海ヒルズに2店舗の新規出店を行います。当社の 中国進出は初めてとなりますが、中国におけるお客様 の反応を見ながら、年度内5店舗程度の出店を目指 し、中国におけるレストラン事業の基盤を確立したいと 考えております。

SPECIAL FEATURE

サンメリー自慢の焼きたてパンの魅力を活かしたコラボ店舗

ベーカリー、レストラン、カフェのグループ ノウハウを結集!!

レストラン及びカフェメニューを 導入した独自のベーカリー業態

株式会社サンメリーは、「おいしさと健康の追求を通して食文化の向上に貢献する」を企業理念として、天然酵母の本格派「石窯パン工房」を中心に首都圏38店舗(2011年2月末現在)で地域に密着した店舗展開を図ることにより多くのお客様に親しまれ、着実な事業展開を行ってまいりました。このたびの新規出店では、グループが有するノウハウを導入し、パスタやハンバーグ等のレストランメニューやカフェメニューを取り入れたドトール・日レスホールディングスのグループとなってから初の新業態となります。









モーニングビュッフ: ランチビュッフェ

モーニングビュッフェ 8:00~11:00 ランチビュッフェ 11:00~15:00 アフタヌーンビュッフェ 15:00~18:00 ディナービュッフェ 18:00~22:30

店舗概

SUNMERRY'S

石奈パン工房 店 名 ベーカリー&レストラン サンメリー柏酒井根店

所 在 地 千葉県柏市酒井根2-2

店舗総面積 83坪

客席数62席(全席禁煙)

営業時間 レストラン 8:00~22:30 ベーカリー 8:00~19:00

時間帯別のビュッフェには 既に常連さんも

「石窯パン工房 サンメリー」は、100%店内焼成にこだわり、愛情をこめて焼き上げます。店内焼成されたパンは、内部までしっとりした香ばしさを持ち、天然酵母や国産小麦など材料や製法にもこだわった自慢の商品です。「ベーカリー&レストラン サンメリー」では、既に定評のあるこれらのパンを持ち帰りだけでなく、焼き立てを食べ放題のビュッフェスタイルで楽しんでいただけます。フードメニューは、パンとの相性の良さを第一に選び抜かれたものばかりで、モーニング、ランチ、アフタヌーン、ディナーの4つの時間帯別ビュッフェを展開、全時間帯、焼きたてパンと共にご提供します(パンの種類は時間帯により異なります)。



株式会社ドトール・日レスホールディングス

号 株式会社ドトール・日レスホールディングス

立 2007年10月1日

資 本 金 10億円

従業員数 2,373名(連結)

社 東京都渋谷区猿楽町10番11号 03-5459-9178(代表)

事務所 東京都渋谷区神南一丁目10番1号 03-5459-9178(代表)

U R L http://www.dnh.co.jp

●取締役

代表取締役会長 山内 代表取締役社長 星野 正則 実 常務取締役 木高 毅史 **役** 青木 幸降 取 締 役 津田 庄三 (社外) 取締役 財前 宏 (社外) 取締役 五味 淳吾

●監査役

監 查 役 鄉井 義郎 (社外) 監査役 梶川 浩 (社外) 監査役 吉島 重鐵

株式会社ドトールコーヒー

号 株式会社ドトールコーヒー

資 本 金 111億41百万円

社 東京都渋谷区神南一丁目10番1号

U R L http://www.doutor.co.jp

日本レストランシステム株式会社

号 日本レストランシステム株式会社

立 1973年6月

資本金 35億5百万円

社 東京都渋谷区猿楽町10番11号 03-6743-7010

U R L http://www.n-rs.co.jp

地域別店舗数

信越·北陸 24店舗

212店舗

30店舗

10 店舗

九州·沖縄 84店舗

33店舗 北海道 85店舗

関東 1.295店舗 142店舗 中部

本誌掲載情報の詳細については 当社WEBサイトを ご参照ください。 http://www.dnh.co.ip BREET & RET RO 00B0E-ドトール日レス

業態別店舗数

2011年2月末

業 態 名	全店	うちFC
ドトールコーヒーショップ	1,118	974
エクセルシオール カフェ	171	38
カフェ コロラド	90	88
 洋麺屋 五右衛門	201	_
さんる一む	29	_
	37	_
サンメリー	38	_
 その他	231	5
合計	1,915	1,105

ドトールコーヒーショップ その他レストラン 21.0% 13.496 百万円 .599百万円 その他カフェ 7.4% — 直営店 4,739百万円 エクセルシオール カフェ 売上高 構成比 サンメリー 64%・ 3.490 百万円 4.147百万円 俵屋(TAWARA-YA) 洋麺屋 五右衛門 3.0% 1,938 百万円 14.829百万円

※直営店の売上高は総売上高の61.2%を占めます。

立 1962年4月

03-5459-9008

D&Nコンフェクショナリー株式会社

号 D&Nコンフェクショナリー 株式会社

立 2008年8月

資本金4億80百万円

D&Nカフェレストラン株式会社

号 D&Nカフェレストラン 株式会社

立 2008年12月

資本金2億円

株式会社サンメリー

号 株式会社サンメリー

立 1969年7月 資本金50百万円

15

株式の状況

発行可能株式総数 200.000.000株 発行済株式の総数 50,609,761株 ÷ 41,923名

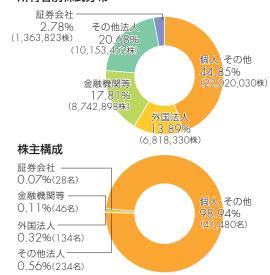
十姓士

入怀王	持株数(千株)	持株比率(%)
大林 豁史	6,748	13.74
株式会社マダム・ヒロ	3,728	7.59
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,534	5.16
鳥羽 博道	2,430	4.95
株式会社バードフェザーリンク	2,300	4.68
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,381	2.81
日本たばこ産業株式会社	1,320	2.69
ドイツ証券株式会社	1,010	2.06
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント	991	2.02
山内 実	924	1.88

※持株比率は自己株式(1,511千株)を控除しております。

株式·株主分布

所有者別株式分布



株主メモ

事業年度毎年3月1日から翌年2月末日まで

定時株主総会 毎年5月に開催します。

В

定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日

中間配当金 8月31日 そのほか株主総会を開催する必要がある場合

は、あらかじめ公告して基準日を定めます。

1単元の株式数 100株

株主名簿管理人および 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社

事務取扱場所 東京都中央区八重洲一丁目2番1号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

郵便物送付先 〒168-8507

東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

公告掲載方法 電子公告により行います。(ただし、電子公

告によることができない事故その他のやむを 得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に

掲載して行います。)

電子公告アドレス http://www.dnh.co.ip/ir/koukoku/index.html

株主優待のご案内

対象株主と贈呈時期

毎年2月末日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以 上保有の株主様を対象とさせていただきます。毎年6月の贈 呈を予定しております。

優待制度の内容

- 100株以上500株未満保有 2.500円相当の商品
- 500株以上 4.500円相当の商品



店舗から排出される牛乳パック を梱包材にリサイクルし、贈呈 品の一部に使用しております。



株式に関するお知らせ

単元未満株式の買取・買増について

単元未満株式(100株に満たない株式)の買取・買増を請求す ることができます。

当社では単元未満株式を買い取らせていただく「買取制度」と、 不足分を買い増していただき単元株式(100株)にまとめる単元未満 株式の「買増制度」をご利用いただけます。



配当金計算書について

配当金支払の際に送付している「配当金計算書」は、租税特別 措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申 告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきまして も、本年より配当支払の都度「配当金計算書」を同封させていた だいております。

確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。

株式に関するお手続き等について

	お問い合せ先	
の士成で	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 商号・氏名、住所、代理人選任、変更など単元未満株式の買取請求単元未満株式の買増請求 その他手続きに関する事項	口座を開設した証券会社に お問い合せください。	みずほ信託銀行 〒 168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 TEL:0120-288-324
●未払い配当金	みずほ信託銀行 〒168-8507東京都杉	並区和泉 2-8-4 TEL: 0120-288-324

取次所

お問い合せ先(株主名簿管理人) みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324 みずほ信託銀行株式会社 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店